

NEWS RELEASE



株式会社アマダ
担当 社長室広報グループ
TEL:0463-96-3105 FAX:0463-94-9781
URL: <http://www.amada.co.jp>
〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田 200

ナガセインテグレックスと平面研削盤で包括的業務提携 工作機械商品の強化・拡充を図る

アマダ（社長 岡本 満夫）は、精密研削盤メーカー、ナガセインテグレックス（社長 長瀬 幸泰氏）と、平面研削盤の開発、製造とその販売などを骨子とする包括的業務提携を結ぶことで合意した。アマダが推進してきた工作機械事業の強化・拡充の一環、平面研削盤の分野での販売、開発、製造にかかわる商品強化への幅広い提携となる。

提携先のナガセインテグレックス（以下ナガセと表記）はナノテクに基づく超精密加工を得意とする工作機械メーカー。研削盤が主力機種。これに対しアマダは小型平面研削盤とプロファイル研削盤を手がけているが、とくに競合する分野もなく相互に補完しあう効果が大きいことから提携が具体化してきた。

具体的包括的業務提携内容は以下の3つの項目となる。

1. 09年4月をめどにナガセよりOEM提供されたアマダ仕様の平面研削盤を販売する。
2. 両社の持つ製造拠点の特徴（生産能力、技術、調達等）を生かした最適工場での生産体制の構築。
3. 両社相互の技術提携、共同開発の実施。

アマダは現在推進中の中期経営計画の中で「工作機械事業の拡大」を打ち出し、本年4月、アマダグループで工作機械を手がけるテクノワシノの社名をアマダワシノに変更すると共に新商品の開発、アマダカラーに基づくデザインの統一、さらに海外展示会を開催して“アマダの工作機械”を国内外に強力に訴求してきた。そのうえ事業拡大にともなう生産増強の一環として岐阜県土岐市に新工場の建設を決めるなど、グループを挙げて工作機械事業の育成に取り組んでいる。

アマダは今後の医療、航空機分野の市場拡大にともなう、さらなる精密加工の必要性やPDP 金型などの大型化への対応として、ナガセがもつ中型以上の汎用研削盤シリーズを新たに製品ラインナップに加える。これにより将来の工作機械事業拡大に大きな可能性をもたらす。

一方のナガセは超精密、特殊分野での油静圧摺動面技術などの独自の商品展開に加え、汎用機種においてアマダとの共同開発も視野に入れ、よりいっそうの技術開発力のアップを図る。あわせて現在の経営資源をより自社の特殊技術を生かした専門分野に集中させることで、さらなるナガセブランド強化につなげる。

また、両社は、将来の共同調達を含めた生産の合理化などへの取り組みで、大きなコストダウンも可能になる。

当面は平面研削盤シリーズの汎用コラムタイプの OEM 供給とその販売が提携の中心となる。提供される機械は中物から大物・長尺ワークに至るまで精密加工を実現する能力をもつ。アマダは 2009 年 4 月から全世界で販売を開始する予定。

国内での平面研削盤市場は年間およそ 280 億円。アマダの売り上げは現在 20 億円程度だが、今回の提携を機に平面研削盤の中型、大型機への市場を広げ、国内外での売り上げを現行の 2 倍程度まで引き上げる計画。

また 2010 年 1 月から新しい工作機械工場「土岐事業所」で精密研削盤のライセンス生産や新規開発商品の生産も視野に入れている。

以 上